

## 地域産業の振興や人材育成 地域の活性化を目指す 西会津町と会津大学が連携協定を締結

西会津町と公立大学法人会津大学は、6月28日に「連携・協力に関する協定」を締結しました。

この協定は、西会津町と会津大学が相互に連携・協力し、ICTを活用した地域産業の振興や人材育成、相互交流を推進し地域の活性化を図ることを目的としています。

会津大学で行われた協定締結式では、薄友喜町長と岡隆一理事長兼学長が協定書に署名しました。締結式後に行われた懇談では、ICT教育の推進などについて出席者が意見を交わしました。

西会津町では、これまでケーブルテレビなどICT関連事業への大学からの助言をはじめ、町内立地企業との意見交換会の開催、集落支援に係るモニターツアーへの学生の参加など、会津大学と多岐にわたり連携してきましたが、この協定締結を契機としてさらに連携を深め、地域活性化につなげていきます。



▲協定書を交わした薄町長（左）と岡理事長兼学長



## 役場および新郷・橋屋集会所周辺で各種訓練を行いました 有事に備えて 町総合防災訓練を実施

町総合防災訓練が6月30日、役場および新郷・橋屋地区で行われました。この訓練は、地域防災体制の確立と住民の防災意識の高揚を図ることを目的に、災害時における応急対策が円滑かつ的確に実施できるよう、毎年行われています。

今年は、大雨警報と土砂災害警戒情報が出され、土砂崩れなどの危険性が高まり、住民が避難を行うという想定の下、訓練は行われました。

災害対策本部設置訓練などが役場で行われた後、避難訓練や避難所開設訓練、応急手当訓練や積み土のう訓練などが橋屋集会所周辺で行われ、住民や消防団、消防支援隊、女性消防隊らが参加しました。

西会津消防署および消防団による一斉放水訓練の後、住民と女性消防隊らによる炊き出しが行われ、訓練は終了しました。参加者らは有事に備え、真剣な表情で訓練に臨んでいました。



## 町議会議員一般選挙結果 新しい町議会議員12人が決定

任期満了に伴う町議会議員一般選挙の投票が6月23日に行われ、開票の結果、新しく12人の町議会議員が決定しました。  
定数が2議席減となった今回の選挙では、現職12人、元職1人、新人4人の計17人が立候補し、12の議席を争いました。

投票率は83・71%

投票は、午前7時から町内20カ所の投票所で一斉に始まり、町民の皆さんにとつて最も身近な選挙ということもあり、各投票所には朝から大勢の有権者が投票に訪れました。

当日の有権者数は5463人で、前回（平成27年）の町議会議員選挙に比べ、495人の減となりました。  
投票率は83・71%で、前回の85・18%を下回りました。  
また、6月19日から22日までの間、町役場前に設置された期日前投票所には、

	当日有権者数	投票者数	投票率
男性	2,650人	2,230人	84.15%
女性	2,813人	2,343人	83.29%
計	5,463人	4,573人	83.71%

### 投票結果

2507人が投票に訪れ、有権者の45・8%が期日前投票を行いました。投票結果は次のとおりです。

### 開票結果

開票は、午後8時から野沢体育館で行われ、午後9時7分に各候補者の得票数が確定しました。開票の結果、現職9人、新人3人の合計12人が当選しました。候補者ごとの得票数は次のとおりです。

### 議会構成

議長 清野 佐一  
副議長 伊藤 一男  
総務常任委員会  
秦貞継 ○多賀剛 武藤道廣 猪俣常三 上野恵美子 清野 佐一  
経済常任委員会

### 候補者別得票数

▼定数 12議席	「敬称略」
当 上野恵美子	517票 無新
当 秦 貞継	411票 無現
当 伊藤 一男	381票 無現
当 荒海 正人	364票 無新
当 武藤 道廣	350票 無現
当 清野 佐一	305票 無現
当 猪俣 常三	296票 無現
当 小林 雅弘	279票 共新
当 青木 照夫	274票 無現
当 多賀 剛	232票 無現
当 三留 正義	231票 無現
当 小柴 敬	193票 無現
長谷川 正	191票 無新
三留 満	185票 無現
渡部 憲	181票 無現
薄 幸一	129票 無現
板垣富士雄	11票 無元

※得票順に掲載

◎は委員長、○は副委員長、敬称略。  
※議員の任期は令和元年7月1日から令和5年6月30日までの4年間です。

議会議長 伊藤 一男  
副議長 伊藤 一男  
総務常任委員会  
秦貞継 ○多賀剛 武藤道廣 猪俣常三 上野恵美子 清野 佐一  
経済常任委員会  
小柴敬 ○三留正義 青木照夫 小林雅弘 荒海正人 伊藤一男  
広報広聴常任委員会  
武藤道廣 ○伊藤一男  
〈広聴分科会〉  
武藤道廣 ○多賀剛 青木照夫 三留正義 秦貞継  
〈広報分科会〉  
伊藤一男 ○猪俣常三 小柴敬 小林雅弘 上野恵美子 荒海正人  
議会運営委員会  
多賀剛 ○猪俣常三 青木照夫 小柴敬 三留正義 秦貞継  
◎は委員長、○は副委員長、敬称略。  
※議員の任期は令和元年7月1日から令和5年6月30日までの4年間です。



## 「西会津応援大使」を委嘱 7人目の応援大使 埼玉女子短期大学教授 森川佳世さん 応援大使に

町では7月1日、埼玉女子短期大学国際コミュニケーション学科教授の森川佳世さんを西会津応援大使として委嘱しました。

西会津応援大使は、町の豊かな自然や歴史、観光などの情報を広く発信し、町のイメージ向上と観光の活性化を図ることを目的に、町にゆかりのある町外在住者を委嘱しています。

この日行われた式には、森川さんと同短大の学生らが出席し、薄町長から森川さんへ「自然豊かな町の魅力や情報を多くの方へ伝えてください」と委嘱状が交付されました。

同短大の皆さんとは、平成28年に就航した「東北フラワージェット（東北6県の花を機体に描いた飛行機）」に描かれていた町のオトメユリが縁で交流が始まり、安座のおとめゆり祭りのボランティアやこゆりこども園での手作り絵本の読み聞かせなど、町との交流が続いています。



▲ 森川佳世さん（左）と薄町長 ▲ 意見交換会も行われました

## 町の教育行政伸展に新しい力 教育委員会委員に高橋誠さんを任命

町では、前委員の退任に伴い空席となっていた教育委員会委員に高橋誠さん（柴崎）を任命しました。6月17日に行われた辞令交付式では、薄町長が高橋さんに辞令書を手渡し、「町では現在、教育改革に取り組んでいます。高橋さんの新しい考えや感性を吹き込み、力を発揮してください」と訓示を述べました。高橋さんの任期は令和4年10月14日までです。



## 地域住民の基本的な人権の擁護と人権尊重思想の普及を図る 人権擁護委員に長谷川さんが再任



長谷川成博さん（梨平）が人権擁護委員として法務大臣から委嘱を受けました。

<問い合わせ先>

町民税務課 町民生活係 ☎ 45-2215

◆委嘱日 令和元年7月1日

◆人権擁護委員制度について

人権擁護委員は、人権擁護委員法に基づき、人権に関する相談を受けたり、人権擁護のための啓発活動を行います。

## 春の叙勲受章を薄町長へ報告 長谷川秀一さん 消防士として防災防火に尽力

長谷川秀一さん（繩沢）が令和元年度の春の叙勲で瑞宝双光章を受章し、7月3日、町長室を訪れ、薄町長に受章を報告しました。

長谷川さんは昭和47年に現在の喜多方地方広域市町村圏組合に消防士として入職し、以来、消防指令長として平成26年に定年退職するまで、地域を守り続けてきました。西会津消防署副署長時代には、管内の火災予防体制の推進を図るため、ケーブルテレビを活用しながら住宅用火災警報器の設置を推し進め、地域に密着した防災防火に尽力しました。



## チャリティーゴルフ大会の募金を スポーツ振興に 町商工会より寄付をいただきました

6月20日、町商工会の青木義時会長と市橋修一副会長が町役場を訪れ、6月9日に行われた西会津町民親善チャリティーゴルフ大会で参加者に募った募金を町に寄付しました。

青木会長は「町のスポーツ振興に役立ててください」と薄町長に寄付金を手渡し、薄町長は「スポーツ振興のために大切に使用させていただきます」と謝意を伝えました。

チャリティーゴルフ大会は毎年6月の第2日曜日に開催されており、今年で26回目を迎えました。



▲ 薄町長（右）に寄付を渡す青木会長（中央）と市橋副会長

## 誰もが安全に安心して暮らせる地域社会を 「社会を明るくする運動」メッセージ伝達式

第69回「社会を明るくする運動」内閣総理大臣メッセージ伝達式が6月25日、町役場で行われました。式では、西会津更生保護協議会の高濱秀道副会長と西会津更生保護女性会の五十嵐照子会長より内閣総理大臣メッセージと福島県知事メッセージが工藤倫也副町長へ伝達されました。

伝達を受けた工藤副町長からは「日頃の更生保護活動に感謝します。犯罪のない安全安心なまちづくりに向け、この運動の輪が社会全体に広がっていくことを願っています」とあいさつがありました。



▲内閣総理大臣メッセージを伝達する高濱秀道副会長 ▲福島県知事メッセージを伝達する五十嵐照子会長



## 7日10日開会 改選後初の臨時議会

## 町議会臨時会報告 2件の議案を審議・可決

任期満了に伴う議員改選後、議員定数が14名から12名になって初めての町議会臨時会が7月10日に開かれました。

臨時会では、正副議長選挙、常任委員会委員および議会運営委員会委員の選任、喜多方地方広域市町村圏組合議会議員の選挙などが行われたほか、右記の提出議案2件が可決されました。

## &lt;可決された議案&gt;

◆防災・安全交付金事業町道野沢中央線（新町橋）橋梁補修工事請負契約の変更契約

## ◆監査委員の選任

武藤道廣さん（新町）の選任に同意

## 招待はがきが届いたら自治区長まで申し込みください

## 敬老会を開催します

右記の日程で今年も敬老会を開催します。招待のはがきが届いたら、内容を確認の上、各自治区長まで申し込みください。

また、送迎バスを利用する場合も併せて申し込みください。

## &lt;問い合わせ先&gt;

福祉介護課 福祉係 ☎ 45-2214

開催日時	対象地区	会場
9月7日（土） 午前10時～	群岡地区 新郷地区	さゆり公園体育館
9月8日（日） 午前10時～	野沢地区 尾野本地区	さゆり公園体育館
9月15日（日） 午前10時～	奥川地区	奥川みらい交流館

## 町長コラム

その9



先日、阿賀町の神田町長と両町の連携について懇談してきた。阿賀町とは合併前の4町村（津川町・鹿瀬町・上川村・三川村）の時代からさまざまな交流があったが、最近は少ないようである。昨年12月に阿賀町長が代わったことから、両町の今後の県境を越えた連携について意見交換をした。

①国道459号の新渡（にいわたり）～徳沢間の橋りょうを含めた建設促進に関して、2町による期成同盟会を結成して早期の事業化を国県に要望し、その実現を図ることについて。

②県境地域の観光を含めた振興について。

③本町のインターネット通信環境を阿賀町と接続することによって、町民の利便が図られ、両町にとってのメリットが大きいことから、その実現を図るこ

とについて。このことについては平成28年に両町の事務レベルで検討されたが進展しなかったとのこと。

④職員の人事交流について。両町の地域づくりや職員の資質向上を図る有効な手段であることから積極的に進めたい。

これらのことについて、いろいろと意見交換ができ、神田町長は事務レベルから検討することを約束してくれた。お互いの考え方が理解でき、大変有意義な時間であった。これからは日本海側に目を向けることが重要であり、次はどこの誰と会うか…、思案中である。

西会津町長 薄友喜